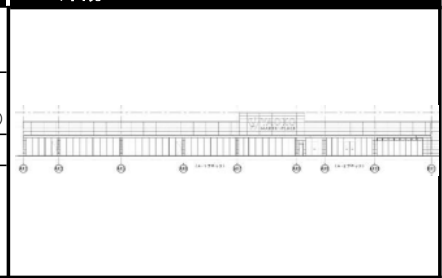


CASBEE[®] さいたま2016年版 | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版

■ 使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------------|--------|----------------|
| 建物名称 | (仮称)ヤオコー西大宮店新築工事 | 階数 | 地上1F |
| 建設地 | さいたま市西大宮四丁目5番1 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 第2種住居地域、準防火地域 | 平均居住人員 | 400人 |
| 地域区分 | 5地域 | 年間使用時間 | 3,300時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 物販店 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2018年11月 予定 | 評価の実施日 | 2018年3月9日 |
| 敷地面積 | 12,788 m ² | 作成者 | 那須 護 |
| 建築面積 | 4,682 m ² | 確認日 | 2018年3月9日 |
| 延床面積 | 4,680 m ² | 確認者 | 那須 護 |



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--|---|---|
| 総合 | | その他 |
| 敷地周囲に緑地帯を及び交差点に面して駐車場を設けることで周辺環境に配慮している。また北側の住宅地側は建物計画を控え日照等に配慮している。 | | 0 |
| Q1 室内環境 | Q2 サービス性能 | Q3 室外環境 (敷地内) |
| F☆☆☆建材を全面的に採用し、空気質環境に十分配慮している。 | 非常用発電機を設置、補修必要間隔の長い配管材を採用し、建物の耐用性・信頼性に配慮している。 | 視線を遮らない様な樹木の配置など防犯性に配慮している。空地率を大きくし、また、中高木を植栽することにより敷地内温熱環境の向上に努めている。 |
| LR1 エネルギー | LR2 資源・マテリアル | LR3 敷地外環境 |
| LED照明の積極的な採用など省エネルギーにかかわる対策を実施している。 | 発泡断熱材を採用しないなど、汚染物質含有材料の使用を回避している。 | 燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮している。適切な量の駐輪場・駐車場を確保し利便性に配慮、管理用車両・荷別き車両の駐車施設を確保、交差点を避けた複数出入口を計画するなど、交通負荷の抑制に配慮している。 |

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される